

令和2年度宮崎県歯科保健推進協議会
(書面による開催)

令和3年1月13日(水)の開催を予定していたが、1月7日 新型コロナウイルス感染拡大による県の緊急事態宣言の発令を受け、集合会議を中止し書面により意見を求めることとした。

1 委員 黒木委員、荒木委員、榎園委員、下池委員、甲斐委員、柿崎委員、橋谷委員、清水委員

2 意見概要

(1) 県の歯科保健の現状及び歯科保健対策について

(国の8020運動・口腔保健推進事業等) <資料1-1、1-2>

委員:「フッ化物洗口マニュアル」は良くできている。これによりフッ化物洗口に対する理解が深まり、普及につながるとよい。

委員:新型コロナウイルス感染拡大により歯科受診を控えていることがあるのではないか。歯科から感染しないことなどについてPRが必要でないか。

会長:これまで歯科診療による感染は報告されていないが、昨年5月頃は歯科医療機関の受診抑制が見られた。今年1月時点ではかなり戻ってきているようである。

歯周病に罹患した人は新型コロナウイルス感染症が重症化しやすいことなどが報告されており、日本歯科医師会は、「ウイルスに負けない歯みがき」などのポスターをつくっており、歯科医療機関の待合室等に貼って活用している。

委員:「医科連携を推進するために必要な体制の整備」においては、様々な研修会が実施され受講者も多数参加されたことが評価できる。

今年度はコロナ禍で研修会が実施の見通しができない状況だったと思うが、取組を継続していくことが大切だと思う。zoom等も活用して継続・実施していただきたい。

<事務局>上記の意見を踏まえ、今後とも感染症対策を十分行いながら必要な施策を進めていきたい。

(2) 第2期宮崎県歯科保健推進計画目標達成に向けて<資料2>

委員:新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校等が休みになるとそれによって目標値が下がってくることはないか。それに対する対策はどうするのか。

会長:今後学校検診等で検証が必要であると考えている。

副会長:成人期、高齢期において目標値へまだ遠い項目があるため、コロナ禍ではあるが、目標達成に向け引き続き取り組みが必要と考えます。

会長:日本歯科医師会はオーラルフレイル予防を進めている。今後どう進めていくかが課題である。

委員:多くのデータは年々改善しているが、成人期の「進行した歯周炎を持つ人の割合」には改善がみられない。そのことに対する取組みはなされているのか。

委員:成人期の「進行した歯周炎を持つ人の割合」の目標値が達成できるようにしっかり啓発をしていただきたい。

<事務局>:全国的にも成人期の「進行した歯周炎を持つ人の割合」は悪化している。2015年に歯周病検診マニュアルが改定され、歯周病の評価方法が見直されたことによる影響と

の指摘もある。引き続き、目標達成に向け、定期歯科健診の受診勧奨などを行っていききたいと考えている。

①第2期宮崎県歯科保健推進計画の評価及び次期計画策定について<資料3-1、3-2>

⇒ 実務者会議を設置することについて、全委員一致で了承された。

副会長：成人期における実務者会議の設置は、成人期の状況を考えると必要と考える。

委員：成人期へのアプローチとして、事業所以外ではどうか。

<事務局>事業所以外の成人期へのアプローチとしては、イベントやキャンペーン等による定期歯科健診受診の啓発、妊婦歯科健診事業を行っている市町村に対する補助等を行っている。

②学齢期について<資料3-3、3-4>

委員：感染拡大予防という理由で、昼食後の歯みがきやフッ化物洗口が中止されている状況を憂慮している。

会長：コロナ禍であってもフッ化物洗口や歯みがきなどはぜひうまくやっていただきたい。口はウイルスや細菌の入り口でもあり、防御する部分である。コロナ禍だからこそ歯と口の健康が必要だと思っている。

副会長：小学校でのフッ化物洗口の取組がされていない地区は、取り組んでいる地区の情報等も参考にしながらぜひ取り組みをすすめていただきたい。コロナ禍でフッ化物洗口を中断している施設については、集団での感染症対策も留意しつつ、早期に再開していただきたい。

委員：フッ化物洗口の継続・中断の判断が市町村で分かれている。今後もしばらくは新型コロナ感染がなくなるわけではないため、中断している市町村ができるだけ早く再開できるように働きかけてほしい。

委員：コロナ禍があればなおさら必要だと思われるので市町村、学校等と密に連携をとって実施してほしいと願っている。

委員：コロナ禍にあって在宅時間が長くなり、間食の度合いが増え、また生活の乱れが生じやすくなっており、むし歯や歯周病も増加するのではないかと心配している。フッ化洗口の中断が長引く場合も考えられる。

「日本学校歯科医会」の「新型コロナウイルス感染予防のための給食後の歯磨きスタイル指導」を校内掲示板、または各教室に掲示されたら、より効果があるのではないかと思う。

会長：「自粛生活により家庭での間食が増えている。」とか「マスクで口呼吸が進んでいる」等も言われており、歯と口の健康維持にはより注意が必要である。

<事務局>コロナ禍におけるフッ化物洗口の推進については、市町村等に対し、感染症予防のための学校や園での注意点、フッ化物洗口継続の必要性などについて引き続き情報提供を行い、早期に再開できるよう支援していきたい。

また、生活習慣の乱れによる口腔内への影響についても学校や園との連携を図りながら対策を進めていきたい。